

報道発表

平成30年7月23日
 名古屋税関
 四日市税関支署

平成30年上半期分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「石油製品」などは増加したものの、「自動車」、「科学光学機器」などが減少したことから、対前年同期比1.2%の減少となった。また、輸入額は「石油製品」などは減少したものの、「原油及び粗油」、「石炭」などが増加したことから、同22.7%の増加となった。
 これにより差引額は、4,050億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	4,008億円	▲1.2%	8,058億円	+22.7%	▲4,050億円	+61.2%
	2期連続の減少		3期連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 石油製品	477億円	+75.1%	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	4,417億円	+49.9%	
		(2) 鉱物性タール及び粗製薬品	237億円	+53.5%			(2) 石炭	199億円	+19.2%	
		(3) 自動車の部分品	301億円	+14.5%			(3) 半導体等電子部品	75億円	+69.5%	
	減少品目	(1) 自動車	12億円	▲92.4%		減少品目	(1) 石油製品	235億円	▲30.4%	
		(2) 科学光学機器	110億円	▲51.1%			(2) 生ゴム	130億円	▲19.9%	
		(3) 半導体等電子部品	87億円	▲36.8%			(3) 液化石油ガス	264億円	▲4.4%	
	地域別動向		増加：西欧など 減少：北米、アジアなど			地域別動向	増加：中東、中東欧・ロシア等など 減少：大洋州など			

（参考）ドルレートは、108.93円（前年同期比3.5%、3.90円の円高）であった。

（注）平成30年上半期分のドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

（注）本資料中の伸率及び増減表記は、前年同期との比較による。